

白水地区 3小学校閉校

ありがとう

そしてさようなら

私たちの学校

2月6日から3月6日にかけて、白水地区3小学校の閉校記念式典がおこなわれました。

本来は学校を見守り、共に育まれてきた地域の皆さまもお迎えして盛大な式典を執りおこなうところでしたが、コロナ禍ということで参加者を最小限に絞っての開催となりました。

しかし、学校、村教育委員

会などが共同でオンライン動画共有サイト「YouTube」を通して式典の様子を公開し、可能な限り多くの人たちに共に閉校を見守っていただくための対応がとられました。

今回、式典をご覧いただけなかった皆さまに広報紙を通して、各小学校のこれまでの歩みと、少しでも閉校式の様子をお伝えするために特集にて紹介します。





南 両併小学校

両併小学校の閉校記念式典は、2月6日におこなわれました。両併小学校はこれまでの147年の歴史で計1509名の卒業生を輩出しました。

中村治教頭なかつむらちの辞により、美校長みかみによる校長式辞で、「みんなの心の中には温かい両併で育てもらった強く優しい心がある。中学校や白水小学校でも新しい友だちとその心をしっかりと繋いで欲しい」との思いが児童たちに伝えられました。また、地域の人々には「これまで通り両併の子どもたちを温かく見守っていただきたい」との

言葉がありました。

第二部の「思い出の会」では、児童たちが両併小学校で経験した体験活動を劇により紹介しました。その中では、思い出と共にその時にお世話になった地域の人々の名前を一人ひとり話すなど、小学校と地域との繋がりの強さを知ることができた劇でした。

式典の最後では、参加できなかった地域の皆さまの「両併小学校への思い」と児童が地域の人たちと交流している様子が動画にて紹介され、大きな拍手をもって式典が閉じられました。



上、式辞を述べる坂田菊美校長

下、児童代表お別れの言葉を話す田上愛桜さん

(6年)

両併小学校の沿革

- 明治 6年 11月 両併小学校の前身、市下小学校設立
- 12年 5月 両併小学校と改称
- 昭和 36年 9月 校歌制定
- 40年 2月 プール竣工
- 46年 7月 バックネット、ブランコ、高鉄棒、砂場完成
- 50年 2月 開校100周年記念式典
- 平成 2年 3月 新校舎(現在の校舎)落成記念式典
- 23年 10月 熊本県教育委員会より「体力向上優良校」表彰を受ける
- 26年 5月 全国優良PTA文部科学大臣賞受賞
- 28年 4月 熊本地震発生により、4月18日から5月6日まで臨時休校
- 令和 元年 8月 両併小学校閉校実行委員会立ち上げ
- 2年 3月 新型コロナウイルス感染拡大のため、3月2日~5月31日まで臨時休校



① 第一部の後の全員での記念撮影 ② 登校時の校長先生の交通誘導を児童が劇に ③ 閉校実行委員会記念碑部会の皆さま

両併小学校校歌

作詞 山口 白陽
作曲 梅沢 信一

一 菜種花さく
阿蘇の焰と
不滅の力
抱いてともに
両併 両併

二 友と肩くみ
語る希望の
つとめてやまぬ
期待に添うて
両併 両併

三 遠い明治の
国とあゆみを
石碑の文字に
かがやく歴史
両併 両併

ふるさとに
白川の
たくましく
はげもうよ
両併校われら

頬よせて
あけくれを
村人の
学ぼうよ
両併校われら

はじめから
共にした
新しく
刻もうよ
両併校われら

両併小三つの心

「思いやり」の心
「高め合う」心
「やりぬく」心



中松小学校

中松小学校の閉校記念式典は、2月13日におこなわれました。中松小学校はこれまでの145年の歴史で計4652名の卒業生を輩出しました。

式典は校庭での閉校記念碑除幕式から始まり、記念碑部会長挨拶では後藤彰久さん(中松二)

が「記念碑は中松小学校で学んだ全ての子どもの行く末を見守ってくれると思う。小学校が懐かしく思われた時にはこの場所に立ち寄って、記念碑に手を添えていただけると幸いです」と話されました。

その後の式典第一部の校長式辞では、松本政子校長から「今回の閉校に向けての準備をおこなってきたみなさんが一体と



上、式辞を述べる松本政子校長
下、閉校事業実行委員長挨拶を述べる後藤隆興さん(中松一)

なった姿から中松小学校がいかに地域から愛されてきた学校なのか分かった。まさに地域と共にある学校そのものだった。これからも子どもたちの成長を暖かく見守っていただきたい」との言葉がありました。

第二部では「たいせつなふるさと〜これまでも、そしてこれからも〜」のテーマのもと、学年ごとに生活科や総合的な学習の時間を通して学んだ、中松のよさについて劇で発表しました。低学年は思わず笑みがこぼれるような可愛い演技で、高学年は思いのこもった熱い演技で自然や歴史から学んだ中松の人々の温かさや逞しさを伝えていました。

中松小学校の沿革

- 明治 8年 5月 創立
- 昭和 26年 6月 6.26大水害、児童4人死亡
- 49年 8月 開校100周年記念式典
- 54年 9月 旧校舎解体、新校舎起工式
- 56年 3月 新校舎(現在の校舎)完成
- 58年 1月 体育館完成
- 平成 2年 8月 女子バレーボール部全国大会ベスト8進出
- 8年 7月 剣道部全国錬成大会準優勝
- 9年 3月 プール完成
- 15年10月 30人31脚熊本県大会準優勝
- 28年 4月 熊本地震発生により、4月18日から5月6日まで臨時休校
- 令和 元年10月 閉校事業実行委員立ち上げ
- 2年 3月 新型コロナウイルス感染拡大のため、3月2日~5月31日まで臨時休校
- 2年10月 全国優良PTA文部科学大臣賞受賞



①松本校長と児童代表高宮成美さん(6年)による校旗返納 ②児童代表お別れの言葉を述べる田尻琉雅さん(6年、写真右)、安達涼真さん(5年、写真左) ③閉校事業実行委員会記念碑部の皆さま ④学校で学んだことを元気に劇で表現する児童

中松小学校校歌

作詞 上田 英夫
作曲 磯田有志郎

一 阿蘇のみやまの 風清く
五こくゆたかに あけられて
けがれを知らぬ 村人の
あつきなさに 育ちきし
ああ わが 中松小学校

二 みなもと近き 白川の
水は澄みつつ 年ふかく
代々のよき師に まもられて
いよよかがやく 学び舎よ
ああ わが 中松小学校

三 思えばうれしき 良き校に
もの学びする 身の幸や
いざやはげみて 新しき
世のため国の 人たらん
ああ わが 中松小学校

校訓

温情 創造 健康



白水小学校

白水小学校の閉校記念式典は、3月6日におこなわれました。白水小学校はこれまでの145年の歴史で計3348名の卒業生を輩出しました。

式典は校庭での閉校記念碑除幕披露から始まりました。体育館に移ったの第2部閉校式では、木下琢磨校長による校長式辞で「統合して新しい白水小学校に生まれ変わるとまた素晴らしい時が刻まれる。閉校していく淋しさを開校する喜びとしてとらえ、前向きにそして新たな希望として見守っていくことが大事だと思います」との言葉がありました。

第3部の思い出を語る会では、白水小学校との関わりが深い人たちの挨拶と思い出発表があり、卒業生の桐原太さん(白川)からは「はくすい」にはみんなを笑顔にできる力がある。はくすい」と言つとみんな素敵な笑顔で終わる。新しい小学校になつても笑顔を絶やさず、はくすい」という素晴らしい伝統を残しつつみなさん頑張つてくたさい」との話があり、児童たちも皆笑顔になっていました。

その後は児童一人ひとりが白水小学校の思い出を発表し、思い出の動画とともに素敵な歌声を披露しました。最後は白水小学校児童を含む南阿蘇エイサー隊の素晴らしい演舞で式典を閉じました。



上、式辞を述べる木下琢磨校長
下、児童代表お別れの言葉を述べる武内柊磨さん(6年)

白水小学校の沿革

- 明治 7年 9月 吉田字横町に吉田校として創立
- 大正 11年 6月 校章制定(全国校章コンクールで第1位)
- 昭和 12年 10月 校内放送施設整備(県下初)
- 28年 6月 6.26水害 被災者は講堂に避難
ミルク給食開始
- 35年 10月 NHK唱歌コンクール県大会出場
- 50年 8月 創立100周年記念式典
- 53年 12月 新校舎(現在の校舎落成式)
- 59年 2月 体育館落成式
- 平成 21年 11月 全国学校体育優良校として表彰
- 27年 3月 電子黒板設置(9台)
- 28年 4月 熊本地震発生により、4月18日から5月6日まで臨時休校
- 令和 2年 3月 新型コロナウイルス感染拡大のため、3月2日~5月31日まで臨時休校



①校旗返納で校旗を掲げる児童代表の佐藤漣音さん(6年、写真右)と福本聡介さん(6年、写真左) ②白水小の思い出発表をする桐原太さん ③発表後に歌を披露する1、2、3年生 ④式典を彩った南阿蘇エイサー隊の素晴らしい演舞

白水小学校校歌

作詞 八波 則吉
作曲 若狭萬次郎

一 阿蘇の神山 神さびて
神代ながらの 噴煙を
大空高く みなぎらす
雄々しき姿 仰ぎ見つ
雄々しき姿 仰ぎ見つ

二 玉の真清水 夜風
湧きてつきせぬ 白川の
みなもとと起こす 白水の
清き心に 鑑みつ
清き心に 鑑みつ

三 規律 勤勉 共同の
三つの御教 身にしてみ
いざもろともに 山川の
姿心に 恥ざらん
姿心に 恥ざらん

校訓

規律 勤勉 共同